

「つなぐ化」事業 事例集



未来の建設業界と、 未来の担い手をつなぐ。

建設業においては、建設労働者の高齢化が進行している中、新規高等学校卒業者の入職3年後の離職率は他産業と比べて高い状況にあり、離職の背景には就職先を決定する過程において、生徒が知りたい情報を十分に受けられていないことが要因に挙げられています。

私たちが暮らす社会の土台づくりを担っている建設業の未来の担い手を確保・育成するため、建設分野を目指す生徒の「知りたい」と、人材を発掘したい建設業者の「知ってほしい」を結ぶ様々な機会を創出するのが、この「つなぐ化」事業です。

建設業界と高等学校などの生徒・教員がつながる機会を提供することで、建設業の仕事の内容や醍醐味などへの理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着に寄与することを目的としています。

この事例集を通じて、建設業界を目指す生徒と建設事業者がつながる取組が全国で広く展開されるよう、「つなぐ化」事業の具体的な実施内容について紹介します。

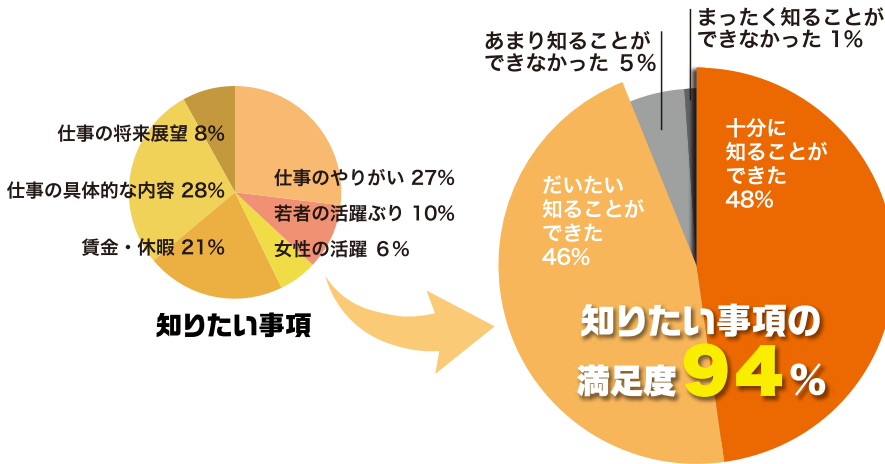
令和3年度事業受託：株式会社東京リーガルマインド

令和3年度「つなぐ化」事業 アンケート結果

建設業界について知りたいこと

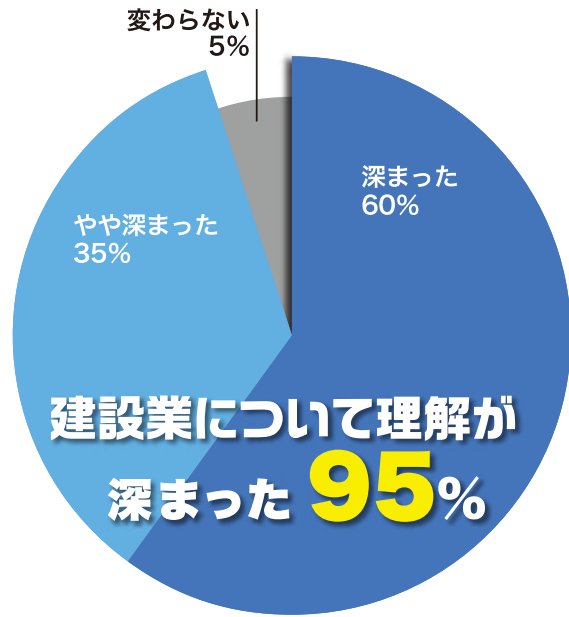
生徒側の関心事項を事前に把握して事業を実施することで、高い満足度を得ています。

「アンケート回答総数:2284名」
※令和4年1月時点



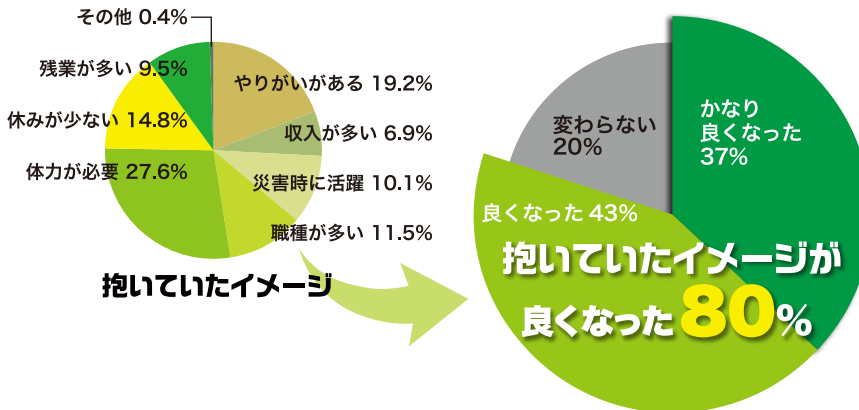
建設業界への理解

事業の実施により、建設業界への理解が深まっています。



建設業界に抱いているイメージ

事業を通じて、生徒側の建設業に対するネガティブなイメージに変化を与えることも期待できます。



建設業について理解が深まった 95%

抱いていたイメージが良くなった 80%

令和3年度「つなぐ化」事業参加学校 90校

北海道

札幌工業高等学校
標津高等学校
中標津高等学校
釧路工業高等学校
小樽未来創造高等学校

秋田県

大曲工業高等学校
金足農産高等学校

宮城県

白石高等学校七ヶ宿校

山形県

村山産業高等学校

福島県

小高産業技術高等学校
郡山北工業高等学校
福島工業高等学校
会津工業高等学校

群馬県

利根実業高等学校

栃木県

那須清峰高等学校
宇都宮工業高等学校
真岡工業高等学校

富山県

高岡工芸高等学校
富山工業高等学校
桜井高等学校
南砺福野高等学校

長野県

上伊那農業高等学校
上田千曲高等学校
信州大学
長野工業高等学校

山梨県

甲府工業高等学校
都留興譲館高等学校
笛吹高等学校
北杜高等学校

埼玉県

大宮工業高等学校
秩父農工科学高等学校
浦和工業高等学校
熊谷工業高等学校
いずみ高等学校
春日部工業高等学校
川越工業高等学校

東京都

墨田工業高等学校
府中工業高等学校
多摩工業高等学校

静岡県

浜松工業高等学校

滋賀県

滋賀職業能力開発短期大学校

愛知県

愛西工科高等学校
愛知工業大学名電高等学校
名城大学
愛知工業大学
名古屋市立工芸高等学校
名古屋高等技術専門学校
豊橋工科高等学校
名古屋市立工芸高等学校
東海工業専門学校
名古屋工業高等学校
東三河高等技術専門学校

和歌山県

紀北農芸高等学校
和歌山大学

岐阜県

可児工業高等学校
関市立関商工高等学校
岐南工業高等学校
高山工業高等学校

大阪府

布施工科高等学校
淀川工科高等学校
都島工業高等学校
修成建設専門学校
堺高等学校
大阪高等学校
枚方なぎさ高等学校
北大阪高等技術専門学校

兵庫県

洲本実業高等学校
龍野北高等学校
豊岡総合高等学校
東播工業高等学校
篠山産業高等学校
日本工科大学校

京都府

京都美術工芸大学

岡山県

笠岡工業高等学校
東岡山工業高等学校
津山工業高等学校

広島県

広島工業高等学校
福山工業高等学校
府中東高等学校

島根県

出雲工業高等学校
益田翔陽高等学校
松江工業高等学校
江津工業高等学校

山口県

早鞆高等学校

愛媛県

西条農業高等学校

宮崎県

宮崎工業高等学校
宮崎県立産業技術専門学校

熊本県

熊本工業高等学校
小川工業高等学校

鹿児島県

鹿屋工業高等学校

「くさび緊結式足場」の仮設実習



支柱の取付け

受講生徒

東京都立墨田工業高等学校

TEL: 03-3631-4928

建築科3年生(7名)

実施日時

令和3年11月12日(金)

12:05 ~ 15:10

実習場所

墨田工業高等学校敷地内(屋外)

実施企業

向井建設株式会社

所在地: 東京都千代田区神田須田町 2-8-1

TEL: 03-3257-1506



布材の取付け



先行手すりの取付け



足場が完成して全員でガッポーズ!

実施内容

教室にてオリエンテーションと現場で主流となっている「くさび緊結式足場」について説明を受けた後、実習場所へ移動。

ヘルメット、フルハーネスを装着し、安全確認、資材の確認など、工事現場の基本から作業を開始した。講師が細かく指示を与えるのではなく、生徒たちが自ら考えて実践していく手法が取られ、生徒たちは、図面と実際の足場材の種類や寸法を1つひとつ確認しながらの作業となった。

実習開始直後は静かで、どこか不安な様子だった生徒たちも、作業が進むにつれて、声かけ、受け渡しなどのチームワークを発揮。途中からは実際の現場さながらの雰囲気となっていた。足場の解体、撤去後は教室に戻り、実習の感想を発表、最後は建設キャリアアップシステムについて説明を行った。

◆タイムスケジュール

時間	取り組み内容
12:05~12:10	オリエンテーション
12:10~12:15	授業内容(くさび型足場について)
12:15~15:00	実演講習・実技講習(休憩挟む)
15:00~15:05	アンケート記入
15:05~15:10	閉会挨拶

生徒の感想

- ・単管足場と比べて作業がやりやすいのでここまでスムーズにできたと思いました。
- ・くさび型足場はハンマーさえあれば組み立てができるためすごくスムーズで簡単だと感じました。
- ・筋交いなどはとても軽く細く、あまり体力を消耗することなくきばきと作業が進められました。
- ・下から筋違などを取り付けることができるためとても安全なうえ、長さは決まっているため長さを測る必要がありませんでした。

教諭からのコメント

その道のプロに教えていただけることで、素早く正確なレベルの高い技能を体験することができます。生徒たちが自分もプロの神業的な技能を習得したいとか、もっと努力したいといったモチベーションを上げることを狙っています。学校の中では経験のできない現場での経験や現場の楽しさも伝えてもらえればと期待しており、実習科目も広げられればと考えています。

向井建設からのコメント

事業を通じて高等学校と一体となって仕事の内容や魅力をアピールすることができます。生徒たちも、プロから実技を教えてもらえることで、就業した際に事前に知識をもって作業に取り組むことができるというメリットがあります。弊社ではSDGsの質の高い教育の実践に取り組んでおり、今後も高等学校とのつながりを持ちながら貢献できればと考えています。

建設業魅力発信セミナー in 宮崎



ガラス施工体験

受講生徒

宮崎県立宮崎工業高等学校

TEL: 0985-51-7231

建築科 2 年生 36 名 (男子 24 名 : 女子 12 名)

実施日時

令和 3 年 7 月 6 日 (火)

8 : 45 ~ 14 : 45

実習場所

宮崎工業高等学校総合実習棟

実施企業

九州竹和会

所在地 : 福岡市中央区天神 4-2-20

TEL : 0927-12-2008



足場組立体験



壁塗り体験



全員でガッツポーズ!



壁ボード貼り体験

実施内容

宮崎工業高校において(株)竹中工務店と九州地区パートナー企業で作る九州竹和会が建築科 2 年生を対象とした今回で 5 回目となる「建設業魅力発信セミナー」と題して建設業における各職種を実施体験できる出前授業を開催した。生徒全員に多くの建設業の仕事を体験して貰うために、参加者を 4 班に分けて壁の珪藻土塗り、電気配線、足場組立てなどの 4 つのブースを回る構成とした。参加者を 4 班に分ける事で、密集を避ける事ができコロナ感染防止対策にもなった。九州竹和会からは 11 社が参加し、各ブースにおいて生徒達に丁寧に指導して、足場組立や壁塗りなど貴重な作業体験の機会を提供した。宮崎工業高校からは、女子生徒 12 名を含む建築科 2 年生 36 名が参加した。

◆タイムスケジュール

時間	取り組み内容
8:45 ~ 8:55	挨拶、内容説明
8:55 ~ 9:10	建設業魅力発信セミナー
9:10 ~ 9:30	建設業で働く女性からの業務内容説明
9:30 ~ 9:45	質疑応答
9:45 ~ 12:25	体験実習(4班)
12:25 ~ 13:15	昼食
13:15 ~ 14:25	体験実習(4班)
14:25 ~ 14:45	挨拶、アンケート記入

生徒の感想

- ・今回の体験を通して、たくさんの職人の方々に専門の知識を教えてもらい楽しい時間になりました。
- ・建築関係には就かないつもりだったけど、一つの選択肢として検討したいと思います。
- ・学生のうちにこのような経験ができるのはとても貴重だったので、将来の進路実現に活かしていきたいと思います。
- ・4 つのブースで体験学習をしてみて、建築という仕事は一つではなくいくつもの仕事から成り立っている、という事を改めて実感できました。

教諭からのコメント

多くの技能系職種にかかわる実習を経験できることがこのセミナーの魅力だと思います。生徒が「職種の内容を知る」「将来の仕事について考える」良い機会とさせていただいております。実際に「セミナーに参加してこの職種に興味を持った」「講師の方に質問できて、将来について考えることができた」などと進路決定の際にセミナーの話が生徒から出てきます。学校の授業では経験できない内容を経験させていただき、建築専門学習と進路指導の両面で成果があがっていると感じています。

九州竹和会からのコメント

建設業界への若手就労者確保を目指して「建設業魅力発信セミナー」と題した取組みを実施しているが、令和 3 年度はコロナ禍の影響により、宮崎工業高校での開催 1 回に留まりました。建設業には非常に多くの職種が有り、出前授業により各仕事の内容や魅力を実体験することで建設業に興味を抱いてもらえるような取組みとしました。将来の建設業界の担い手として、多くの生徒が建設業に入職してくれることを期待しています。

一般国道5号：北海道岩内郡共和町工事現場見学



国道5号共和町共和除雪ステーション新築工事

受講生徒

小樽未来創造高等学校
TEL：0134-23-6105
建設システム科（建築・土木）23名

実施日時

令和3年11月16日（火）
9：00～14：20

実習場所

共和町工事現場
小樽未来創造高等学校

実施企業

福津組

所在地：北海道古平郡古平町港町3
TEL：0135-42-2153



国道5号共和町島付内川3号橋A1橋台工事



学校に戻りグループディスカッション

実施内容

学校を出発して、共和町除雪ステーション第一車庫新築工事の現場に到着。この工事現場では工事概要や建築工事で土木工事との違いなどについて学んだ。続いて島付内川3号橋台工事現場に移動、高速道路が果たす機能、余市～倶知安道の全体計画や目的について理解を深め、工事概要や現場で構築している各構造物の機能について学んだ。学校に戻りグループディスカッションを行い、生徒が意見を自由にブレインストーミングして、カードに記録してチームごとに発表をした。（1チーム4・5人で5チーム編成し、チームごと意見が出やすいように企業側がサポートして助言した。）

- < 討論テーマ > ①建設業ってどんなお仕事？ ②建設業の良い、悪いイメージ
③建設業の離職率が高い理由 ④理想の建設業での働き方

◆タイムスケジュール

時間	取り組み内容
9:00～10:00	学校出発、移動
10:00	共和町除雪ステーション第一車庫到着
10:00～10:10	概要説明
10:10～10:45	除雪ステーション新築現場見学
10:45～11:25	共和町島付内川3号橋台工事現場見学
11:25～13:25	移動、学校に戻り昼食
13:25～14:25	グループ討議

生徒の感想

- 学校でのグループディスカッションで上記、〈討論テーマ〉別に一番多かった意見
- ①建設業は人々の便利な生活を支える仕事だと感じた。
- ②残業もそれなりにありそうだが、やりがいを感じることができそう。
- ③社内の上下関係が厳しいイメージがある。
- ④和気あいあいとした人間関係の中で仕事ができそうと感じた。

教諭からのコメント

本校は、1年次に現場見学を実施し、2年次の建築・土木の選択を行います。今回は2年次の現場見学とグループディスカッションを実施し、授業で得た知識と現場の様子を照らし合わせができたようで、さらに建設業への興味・関心を示していました。福津組の皆様には細部に渡り配慮していただき心より感謝しております。

福津組からのコメント

- ・今回のディスカッションを通して出た意見は耳が痛い話もあったが、会社としてはもちろん、業界全体で改善していけたらと思います。建設業のイメージ改善を図れるように尽力していきたいと思っています。
- ・働き方改革が進められている昨今では、今回の意見を取り入れながらより働きやすい環境へ企業も従業員のために進めていかなければならないと考えております。

四国横断自動車道吉野川大橋 工事現場



鉄筋結束体験

受講生徒

岡山県立笠岡工業高等学校
TEL: 0865-67-0311
環境土木科 1年: 38名

実施日時

令和3年10月26日(火)
13:00 ~ 15:15 (現場見学・実習)

実習場所

徳島県徳島市川内町旭野～徳島市東沖洲

実施企業

鹿島中国事業協同組合

所在地: 広島県広島市南区段原南1丁目3番53号
鹿島建設株式会社中国支店内
TEL: 0825-53-7905



現場到着後のオリエンテーション



プロジェクト概要説明 (PR ルーム)



現場見学状況

実施内容

生徒38名、教師2名がコロナ感染症対策としてバス2台に分乗し、換気を徹底するなどの工夫を取り入れて、四国横断自動車道・吉野川大橋工事現場を目指した。

現場では、PRルームにて工事概況について説明を受けた後、現場見学を行い、

実際の規模感や雰囲気、働く方の仕事ぶりを肌で感じた。

その後、鉄筋結束、測量といった実務を実際の工事が行われている現場で体験するなど、貴重な機会を得ることができた。

◆タイムスケジュール

時間	取り組み内容
13:00	現場到着
13:00~13:30	工事概要説明
13:30~15:00	現場見学、体験実習(2班)
15:00~15:15	質疑応答
15:15	現場出発



生徒の感想

- ・とても大きな橋の工事を初めて見学して、土木現場の凄さを周近で感じられました。女性作業員の方に気になっていることや、実際のお話を聞けてすごく良い経験になり、将来土木系に就職したら、皆さんのように頑張ろうと思いました。
- ・とてもいい経験になりました。写真で見ていたものをリアルで見てスケールの大きさに感動しました。
- ・今まで見たことない規模の現場でとてもおもしろく学校で習えないことも沢山あってとても勉強になりました。現場でしかできない実習内容で楽しく学びました。



教諭からのコメント

学校では学ぶこと、見ることのできない体験ができました。
本校の生徒は現場監督を目指している生徒が多く、現場の工程説明を受けることや今回のような鉄筋結束体験をさせていただくことは、良い経験となりました。
このような体験ができたことは、今後の授業にも役立つことも多く、国家資格である施工技術者試験取得に向けても良い体験となったと思います。



鹿島中国事業協同組合からのコメント

生徒が仕事の内容や魅力を実体験することで建設業に興味を抱いてもらえるよう、現場で鉄筋結束、配筋検査及び測量体験を実施しました。
学校で学んでいることが実際に現場でも使われていることが分かり、更に興味を持ったように感じています。
将来、一人でも多くの生徒が建設業に入職してくれることを期待しています。

建設業で目指せ！将来のエンジニア



スクリーンの資料を見ながら受講

受講生徒

東京都立多摩工業高等学校
TEL:042-551-3435
デュアルシステム科
1・2年生：66名

実施日時

令和4年2月2日(水)
①3時限(10:50～11:35)
②4時限(11:45～12:30)

実習場所

多摩工業高等学校：視聴覚室

実施企業

三承工業(株)

所在地：岐阜市水主町
2丁目53番地
TEL：058-275-5556
講師：代表取締役
西岡 徹人氏



生徒からの質疑応答など
活発な意見交換を交わす



講師が動画などを交え
建設業の魅力を紹介



建設会社にごどんな部門があるかについて
(三承工業様ご提供資料より)

実施内容

デュアルシステム科は企業と学校が協力をして、「ものづくり人材」を育てる教育システムで、日頃から実践的な職業体験を実施しており、今回は「目指せ！将来のエンジニア」をテーマに意見交換会を、コロナ対策に留意して開催した。

①高卒で就職できる工業科にかかわる職種・企業 ②取得を勧めたい資格など様々な視点から、建設業界の紹介と魅力・やりがいを伝えるというテーマで授業を実施し、生徒から積極的に質問が出されるなど活発な議論が交わされ、建設キャリアアップシステムに関しても資料で生徒への周知を実施した。

◆タイムスケジュール

時間	取り組み内容
10:50～10:55	ガイダンス・講師紹介
10:55～11:35	意見交換会①(1年生:36名)
11:35～11:45	休憩・入替え
11:45～12:30	意見交換会②(2年生:30名)

生徒の感想

- ・何事にも諦めず、挑戦すること。人は変われること。後悔のない一生を送る目標を持ちます。
- ・「誰かのために」「お客様の笑顔、喜び、満足を提供すること」心にささる講話でした。
- ・「逃げてないか?」、自分の中での葛藤、大切なことを学びました。
- 自分の強みや判断力を磨き続ける気持ちを持ち続けたいと思います。
- ・建設業の取り組みを聞いて新築工事や土木、外構工事など仕事内容をよく知ることができ、印象が変わりました。

教諭からのコメント

- ・企業が求める人材や仕事の意義などを分かりやすく講義していただきました。
- ・工業高校出身や失敗から学ぶ経歴は、就職活動やWP(ワーキングプログラム)を控えた生徒の決断するきっかけや気持ちに響いたことを実感しました。
- ・感動的な動画や生徒を引き付ける話は大変勉強になりました。
- ・ワーキングプログラム授業として総合建設業に関わる初めての講話でした。
- ・社会課題の解決やSDGsへの取り組み、ローコスト注文住宅や女性の働き方まで事業展開も多岐にわたり、企業実習先の新規選択肢としても広げていく考えております。

企業(講師)からのコメント

今回は素晴らしい機会をいただきまして誠にありがとうございました。学生との意見交換会で感じたことは、工業高校であったからか1、2年生の子どもたちが進路に対して「就職をします。」と強い意志を持っていたことに非常に驚きました。一方で、自らの決断に対して判断が正しいか悩みを抱えているという意見も聞くことができました。そうした意見に建設業の経営で培ってきた経験を元に意見交換ができてお話しできたことが非常に有意義で私自身も勉強になりました。



「つなぐ化」事業とは？

建設業界と高等学校などの生徒・教員がつながる機会を提供することで、若年層の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着を図ります。

「つなぐ化」事業 3つの取り組み



1

建設のプロの技を体験！

「出前授業」



地域の中小建設企業・団体などが学校を訪問し、仕事内容やその魅力について紹介します。簡単な実作業などを行うプログラムもあり、プロの技を間近で見ることができる絶好の機会です。



2

リアルな現場を訪問！

「現場見学会」



地域の中小建設企業・団体などが携わっている工事現場を見学します。工事の規模感や雰囲気、現場で使用されている機材、そして、活躍している先輩たちを実際に目で見て肌で感じると同時に、仕事内容や就労環境などを知ることができます。



3

仕事の「？」を聞く

「意見交換会」



地域の中小建設企業・団体などと、高等学校などの生徒・教員が一堂に会し、就職や就労環境、建設業界の現場などについて意見交換を行います。学校側からは建設業界への疑問や要望を、建設事業者からは業界が求める人材像などを伝え、相互理解を深める機会となっています。



令和3年度 建設業若年者理解・定着促進事業 受託会社

LEC 東京リーガルマインド